

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報						
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要				
潮風公園・台場公園		(指定管理者名) 東京臨海副都心グループ (団体の概要)				
指定期間		(株)東京臨海ホールディングスが統括し、東京港埠頭(株)が実績と専門のノウハウを生かした維持管理を行い、(株)東京レポートセンターが近隣ビルと駐車場の管理を行う。				
H 28.4.1～ R 8.3.31 (10年間)						
2 施設名		3 収支(単位:千円)			公園別支出額	
東京都立潮風公園 東京都立台場公園	項目	令和6年度 金額	令和5年度 金額	令和4年度 金額		
	収入計	97,450	95,278	100,576		
	内訳					
	指定管理料	97,450	95,278	100,576		
	利用料金	0	0	0		《潮風公園》82,647千円 《台場公園》10,949千円
	その他収入	0	0	0		
支出計	93,596	95,703	99,643			
収支差	3,854	△425	933			
4 管理運営の概要						
特記すべき事項						
<p>◆安心・安全を創出する適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化委により老朽化していた潮風公園パーベキュー広場前ボードデッキの再整備や園路補修工事を緊急対応経費や増額予算により執行することで、適正な維持管理を行うことで安心・安全な公園環境を創出した。</li> <li>・ゲリラ豪雨により発生した潮風公園トイレへの雨水流入や、強風により台場公園で発生した幹折れ樹木の伐採等直営により迅速に緊急事態への対応を行うことで公園利用者の安全を確保した。</li> </ul> <p>◆「潮風公園開園50周年記念事業」への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルスタンプラリーの開催</li> <li>・潮風公園の見所7か所に、利用者がスマートフォン等でQRコードを読み取り、スタンプを取得するデジタルスタンプラリーを実施した。台場公園で同時開催しているデジタルスタンプラリーでも同様のアプリケーションを採用し、連動性を持たせることで、公園間の回遊性を高めた。また、ポイントとなる施設では、AR技術によりスマートフォン上で施設解説を閲覧できるシステムを導入した。</li> <li>・アジサイ記念植樹</li> <li>・潮風公園の新たな修景として、太陽の広場周辺にアジサイを植栽した。植栽に際しては近隣保育園と連携して保育園児が植樹を実施することで記念事業の機運を高めた。</li> </ul> <p>◆新型コロナ「5類」移行後のイベントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業の開催(計8件4,256名と1400組参加)</li> <li>・新型コロナ「5類」移行後、制限なく集客が可能となり、潮風公園も50周年を迎えたことから、新規イベントの開催をはじめ、従来より実施している体験教室等、充実した自主事業を展開した。これにより、公園の魅力発信や賑わい創出に寄与した。</li> <li>・スポーツ・音楽イベント開催時における主催者との連絡調整・指導及び新規企画の立案・実施</li> <li>・スポーツや音楽等のイベント開催前には、「レギュレーションブック」を使用して、イベント利用の取扱いについて東京都と共有し、東京都と連携してイベント主催者への利用指導を徹底した。これにより、イベントへの近隣住民や公園利用者からの苦情等は発生しなかった。</li> <li>・また、公園の更なる魅力向上と利用促進を図るため、新たに将来を担う若者をフォーカスして、学生を主体とした音楽イベントを企画・実施した。これにより、地域協働や連携を行うことができ、臨海副都心エリアの活性化に寄与した。</li> </ul> <p>◆来園者増に向けての取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園ホームページ、SNSによる開花情報、イベント情報の発信</li> <li>・公園HPやSNSによる季節の草花の開花情報や公園で実施するイベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。</li> <li>・QRトランスレーター導入</li> <li>・台場公園の歴史を紹介するため、QRトランスレーターを導入し、公園の史跡や歴史を多言語の音声でご案内できる環境を整えた。</li> <li>・AR技術によるデジタルスタンプラリーの開催</li> <li>・AR技術を活用したデジタルスタンプラリーを潮風公園・台場公園で開催し、7箇所のポイントでQRコード読み込み、スマートフォン上でスタンプを獲得し記念品を得られるイベントを開催した。またポイントとなる施設・史跡では、AR技術によりスマートフォン上で施設・史跡解説を閲覧できるシステムを導入した。これにより現地の施設・史跡を楽しみながら、施設・史跡の理解を深めていただくことができ、公園の新たな利用方法を創出することができた。</li> </ul> <p>◆オリンピックレガシーによる公園の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック競技としてビーチバレーボールが潮風公園で開催された。オリンピックレガシーとして公園の利活用を促進するため、潮風公園内のビーチバレー競技会場跡地を巡る、「オリンピックレガシーガイドツアー」を実施し、オリンピックレガシーの情報発信を行うとともに、公園資源として継続的に活用、管理を行った。</li> </ul>						
5 管理状況						
①維持管理						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初計画に基づき、施設点検や修繕を着実かつ適切に行った。実施にあたっては当社独自で作成の不具合処理調書を活用し、速やかに補修作業を行い施設の適正な維持管理に努めた。また、電気設備・給排水設備の点検作業を実施し、照明の不点灯や配管の詰まり等の不具合が発生しないよう関係施設の予防保全に努めた。その結果、利用者へ影響を及ぼす公園施設での不具合は発生しなかった。</li> </ul>						
②利用者への対応						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮風公園パーベキュー広場前ボードデッキの再整備、園路補修工事、トイレ雨水流入対応・台場公園幹折れ樹木の伐採等実施した。</li> <li>・「潮風公園50周年記念デジタルスタンプラリー」の実施により、50周年の機運を盛り上げるとともに利用者サービス向上を図った。</li> <li>・新型コロナ「5類」移行後、制限なく集客が可能となったことから充実した自主事業(8件4,256名と1400組参加)を実施し、公園の利用活性を図ることができた。</li> <li>・HPやSNSによる季節の草花の開花情報や公園で実施するイベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。</li> <li>・台場公園の歴史を紹介するため、QRトランスレーターを導入し、史跡や歴史を多言語の音声でご案内できる環境を整えた。</li> <li>・AR技術を活用した「台場公園史跡めぐりデジタルスタンプラリー」を開催し、現地で史跡を楽しみながら、史跡の理解を深めていただくことできた。</li> <li>・オリンピックレガシーガイドツアー」を実施し、オリンピックレガシーの情報発信を行うとともに、公園資源として継続的に活用、管理を行った。</li> </ul>						
6 利用者アンケート結果						
実施方法：公園内で調査票を配布・回収						
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員への対応	施設ごとの分析・評価
潮風公園	4.6	4.7	4.5	4.7	4.6	公園の良い点として、「芝生広場等広々とした公園がある」や「都心に貴重な自然がある」と評価されているのは、臨海副都心地区の中で自然を快適な空間として管理できていることが評価されたと考えられる。改善点としては、「レストラン・売店が少ない」、「子供用遊具の充実」等が挙げられており、これらの点について、関係部署と協力して改善策を検討していくことが重要と考える。
台場公園	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	総合満足度が5点満点中4.7点と、例年より全体的に高評価となった。要因としては、日常の清掃、維持管理作業、巡回スタッフによる注意喚起が快適な公園環境を提供したと考えられる。今後の対応としては、史跡としての利用方法や注意事項の注意喚起、ホームページやSNSでの情報発信等が考えられる。
グループ平均						
7 入園者数の状況(単位:人)						
施設名	当該年度	分析				
潮風公園	299,096	今年度は年間を通じて遠足等の団体での芝生広場利用が多く来園者が増加している。また音楽・スポーツイベントによる利用者も増加している。				
台場公園	73,276	年間を通じて開園となり、外出自粛の規制も緩和されてきたことから、遠足等の団体利用や外国人観光客等の来園者が前年度から継続して増加している。				
合計	372,372					

# 東京臨海副都心グループ 都立潮風公園

様式1-②

## 本年度、力を入れて取り組んだ5つの取り組み

安心・安全を創出する適正な維持管理

「潮風公園開園50周年記念事業」への取組

新型コロナ「5類」移行後のイベント充実

来園者増に向けての取組

オリンピックレガシーによる公園の利活用

### 1 安心・安全を創出する適正な維持管理

#### (1) バーベキュー広場前ボードデッキ再整備

増額予算を活用し、前年度より老朽化しているボードデッキを継続的に再整備を行うとともに特に利用の多い炭置き場前においては計画外で補修を行い、バーベキュー広場をご利用お客様の快適性や安全性・景観の向上に努めた。



ボードデッキ再整備

#### (2) 園路補修の実施

緊急対応経費を活用し、潮風公園の人気スポットである南中央口と噴水広場を結ぶワシントンヤシ並木のある「水と緑のプロムナード」の園路舗装を前年度より継続的に補修することで、潮風公園内で夏場は特に利用者の多い噴水広場までの動線の機能性や安全性を確保することでお客様に快適性の高い環境を提供した。



水と緑のプロムナード園路補修及び利用状況

#### (3) 直営による迅速な対応

ゲリラ豪雨による大雨により、潮風公園内トイレに雨水の流入が発生した。頻発するゲリラ豪雨に対応するため、大雨・洪水警報が発出された際には事前に吸水性の高いスポンジや土嚢を雨水の流入が予想される箇所に直営で設置することで、流入防止措置を行った。

また、流入箇所については新たに側溝を整備することで公園施設の適切な維持管理に努めた。



トイレ雨水流入防止措置



側溝整備後

## 2 「潮風公園開園50周年記念事業」への取組

潮風公園が開園50周年を迎えたため、記念事業として「上野恩賜公園飲食収益還元事業」に提案応募を行い、選定されたことから下記2つの事業を行った。

### (1) デジタルスタンプラリーの開催

潮風公園の見所7か所に、利用者がスマートフォン等でQRコードを読み取り、スタンプを取得するデジタルスタンプラリーを実施した。台場公園で同時開催しているデジタルスタンプラリーでも同様のアプリケーションを採用し、連動性を持たせることで、公園間の回遊性を高めた。

また、ポイントとなる施設では、AR技術によりスマートフォン上で施設解説を閲覧できるシステムを導入した。

### (2) アジサイ記念植樹

潮風公園の新たな修景として、太陽の広場周辺にアジサイを植栽した。植栽に際しては、近隣保育園や企業と連携して植樹を行うことで、記念事業の機運を高めるとともに、新たな景観づくりにつなげた。



デジタルスタンプラリー 案内およびスタンプ画面



保育園児との植樹の様子

## 3 新型コロナ「5類」移行後のイベント充実

### (1) 自主事業の開催

新型コロナ「5類」移行後、制限なく集客が可能となり、アカペラコンサートといった新規イベントの開催をはじめ、従来より実施している体験教室等、充実した自主事業を展開した。これにより、公園の魅力発信や賑わい創出に寄与した。

今年度実施した自主事業は下記の通り  
(計8件、4,256名と1400組参加)

- ・エクサパーク(潮風フィットネス)(50名)
- ・潮風・お台場ウォーキング教室(3,915名)
- ・釣り&バーベキュー教室(9組26名)
- ・門松作り教室(22組51名)
- ・凧作り凧揚げ体験教室(70名)
- ・パークヨガ(126名)
- ・防災キャンプ体験教室(18名)
- ・アカペラコンサート(1400組)

### (2) スポーツ・音楽イベント開催時における主催者との連絡調整・指導の実施

・新型コロナが収束し、イベント事業者によるスポーツや音楽イベントが複数実施されたが、イベント主催者への利用指導を徹底したことにより、イベントへの近隣住民や公園利用者からの苦情等は発生しなかった。



凧作り凧揚げ体験教室



門松作り教室



パークヨガ



釣り&バーベキュー教室



【新規】オリエンテーリング大会



【新規】潮風・お台場ウォーキング教室

また、イベントによる施設・設備の破損、欠損等については、事前と事後の施設確認を徹底することで、イベント開催による不具合発生の早期発見に努めた。なお、イベント中の応急措置への協力と原状復旧への指導を徹底することで、公園施設や利用環境を適正に維持することができ、良質な環境のもとイベントをお楽しみ頂いた。

### (3) 東京都事業への協力

・東京都が主催する、スポーツ・レクリエーションイベント「GRAND CYCLE TOKYO」では主要園路を使用するため、一般利用者の安全確保との両立などについての調整を行い実施に貢献した。

また、潮風公園内護岸工事や防潮堤地質調査等、多様な公園利用に対して利用調整を行うなど、円滑にイベントや工事・調査が行われるよう努めた。

このような利用調整により、イベントや工事・調査による事件・事故は発生しなかった。



音楽イベント「Willy」



音楽イベント「ベジライフ」



GRAND CYCLE TOKYO実施の様子

## 4 来園者増に向けての取組み

### (1) 公園HP、SNSによる開花情報、イベント情報の発信

・公園HPやX、Instagramによる季節の草花の開花情報や公園で実施する各種イベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。令和6年度潮風公園Xインプレッション数は累計40,019カウント(3/31時点)であった。  
※インプレッション数とは「投稿や広告が表示された回数」のことを指し、情報発信効果の指標となる。

令和5年度の来園者205,495人(3月末)に対し、令和6年度は来園者が300,096人(3月末)となり、94,601人(46%)増となった。



防潮堤地質調査



公園南側護岸工事



X・Instagramによる情報発信

## 5 オリンピックレガシーによる公園の利活用

・オリンピック競技としてビーチバレーボールが潮風公園で開催された。オリンピックレガシーとして公園の利活用を促進するため、臨海地区の他スポーツ施設と潮風公園内のビーチバレー競技会場跡地を巡る、「オリンピックレガシーガイドツアー」を実施し、オリンピックレガシーの情報発信を行うとともに、公園資源として継続的に活用に取り組んだ。



レガシーガイドツアーの様子

# 東京臨海副都心グループ 都立台場公園

歴史と文化  
に配慮した  
公園管理

都民協働・  
自主事業による公園の  
利活用

来園者増に  
向けての  
取組

本年度、力を入れて取り組んだ3つの取り組み

## 1 歴史と文化に配慮した公園管理

### (1) 景観に配慮した適正な維持管理

・海上公園との一体管理のメリットを活かし、お台場海浜公園レクリエーション水域の巡回時に合わせて、海上から台場公園の石垣の状態を確認するなど、史跡の保全、景観への配慮に努めた。



海上からの石垣



石垣実生木処理



### (2) 気象災害時の迅速な対応

・強風により園内樹木(ケヤキ・アカメガシワ)の幹折れが発生したため、直営による枯れ枝除去、安全措置等の作業を迅速に実施した。このため、幹折れによる利用者への被害等は発生せず、園内の安全性及び景観を確保した。



強風による幹折れの様子

## 2 都民協働・自主事業による公園の利活用

### (1) ゴミ拾いイベントの実施

(6・9・11月実施 延べ1,606名)

・「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」を実施し、隣接するお台場海浜公園とともに清掃活動を実施した。港区や近隣住民等の地域との連携強化や、都民協働による公園の利活用に貢献した。

都が推進する「Digital Innovation City」の取組の1つである台場公園でのドローンショー実施のため、調整を行い円滑なイベント実施に貢献した。



ゴミ拾いイベント



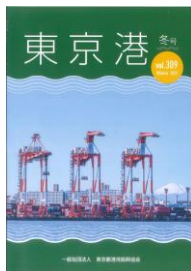
ドローンショーの様子

## 3 来園者増に向けての取組み

### (1) AR技術によるDX活用

・台場公園の見所7か所に、利用者がスマートフォン等でQRコードを読み取り、スタンプを取得するデジタルスタンプラリーを実施した。潮風公園で同時開催しているデジタルスタンプラリーでも同様のアプリケーションを採用し、連動性を持たせることで、公園間の回遊性を高めた。

また、SNSでの情報発信や、広報誌「東京港309号」に掲載する等、広報活動も行うことで、来園者増に努めた。



園内史跡デジタルスタンプラリー

### (2) 雪吊りの設置

・台場公園の入口にある仕立ての良い松3本に「雪吊り」を実施し、日本の伝統文化や美しい景観を創出した。また、雪吊り説明看板は日本語・英語で表記し、更に中国語の説明文をQRコードで読取可能とすることで、多言語化に対応した。



雪吊りの設置



QRコードを活用した  
雪吊り説明看板